

# SST-A50型

## 面付けスチールスライドドア

### 特定防火設備

## 取付け要領書

### ⚠ 注意事項

- ・ 施工する前のドアや枠材は直射日光の当たらない場所へ保管して下さい。保管の際は、長時間の横積み状態はなるべく避けて下さい。ドアやパネルが反ってしまう恐れがあります。
- ・ 持ち手や引き手にぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険ですし、持ち手等が正常に機能しなくなる恐れがあります。
- ・ 錠前は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなることがあります。
- ・ 錠つきの場合、ラッチを出したままドアの開閉をしないでください。ラッチに当りケガをしたり、錠受けが破損する原因となります。
- ・ ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組立て直すことが出来なくなります。
- ・ 扉を吊る前に、表面材の養生シートを“剥がして”おいてください。特に裏側については、吊り込み後には大変“剥がし難い”状態になります。
- ・ レールおよびレールベース取付けの際に発生する切粉は、吸引やエアブローなどで完全に除去してください。
- ・ 掃除の際には柔らかい布やスポンジなどを使い、金属タワシや金ペラなどの使用は避けてください。
- ・ 金属ヘラやタワシなどで擦ると塗装が剥げたり傷がつき、錆びや腐食の原因となります。また、塩分・酸・アルカリなどが付着すると錆びや腐食の原因になりますので、すぐにふき取ってください。

09502-AKT-005-03  
2023/4

# 目 次

## 工事手順について

1. 開口枠の取付け	-----	1
2. 煙がえしの取付け	-----	2
3. 方立て・副体の取付け	-----	3
4. 方立ての取付け	-----	4
5. レール下地の取付け	-----	5～6
6. ボルト化粧枠の取付け	-----	7
7. レール部材の組立て	-----	8
8. レールの組み付け	-----	10
9. 扉の部材取付け	-----	11
10. 扉の吊り込み	-----	12
11. 制動装置の組立て	-----	13
12. 扉の各種調整	-----	14～15
13. クローザーカバーの取付け	-----	16
14. レールカバーの取付け	-----	17

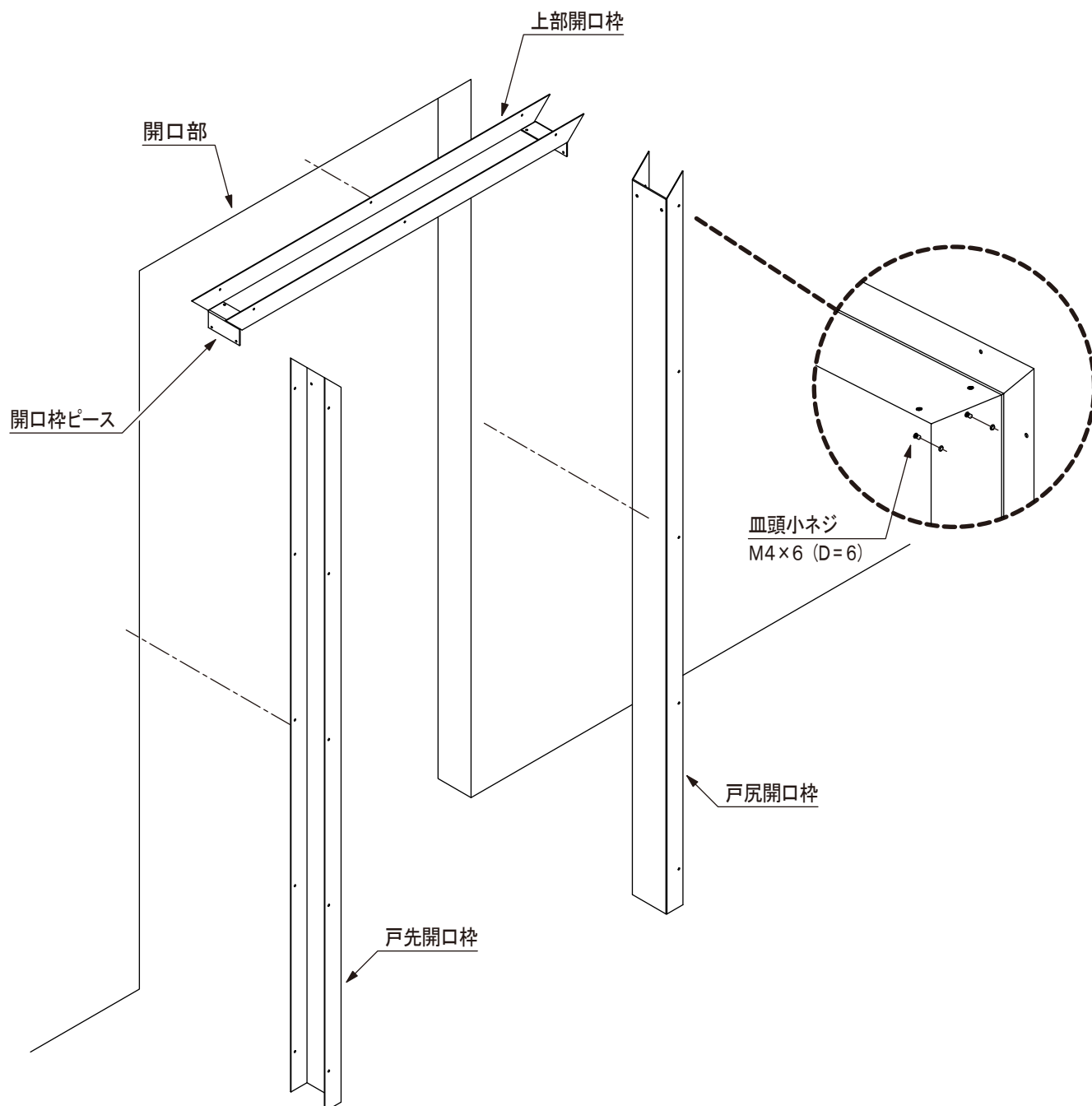
## オプションについて

1. サニタリーカバーの取付け	-----	9
2. 錠受けの取付け	-----	16
3. シリンダー／サムターンの交換方法（美和ロック UD錠）	-----	18

## 工事手順について

### 1. 開口枠の取付け

- 1) 開口枠と壁の開口部の寸法が合っているか確認してください。
- 2) 先ず上部開口枠の両側に開口枠ピースを取付けてください。
- 2) 先ず上部開口枠を壁の開口部に仮止めしてから戸先開口枠と戸尻開口枠を取付けてください。

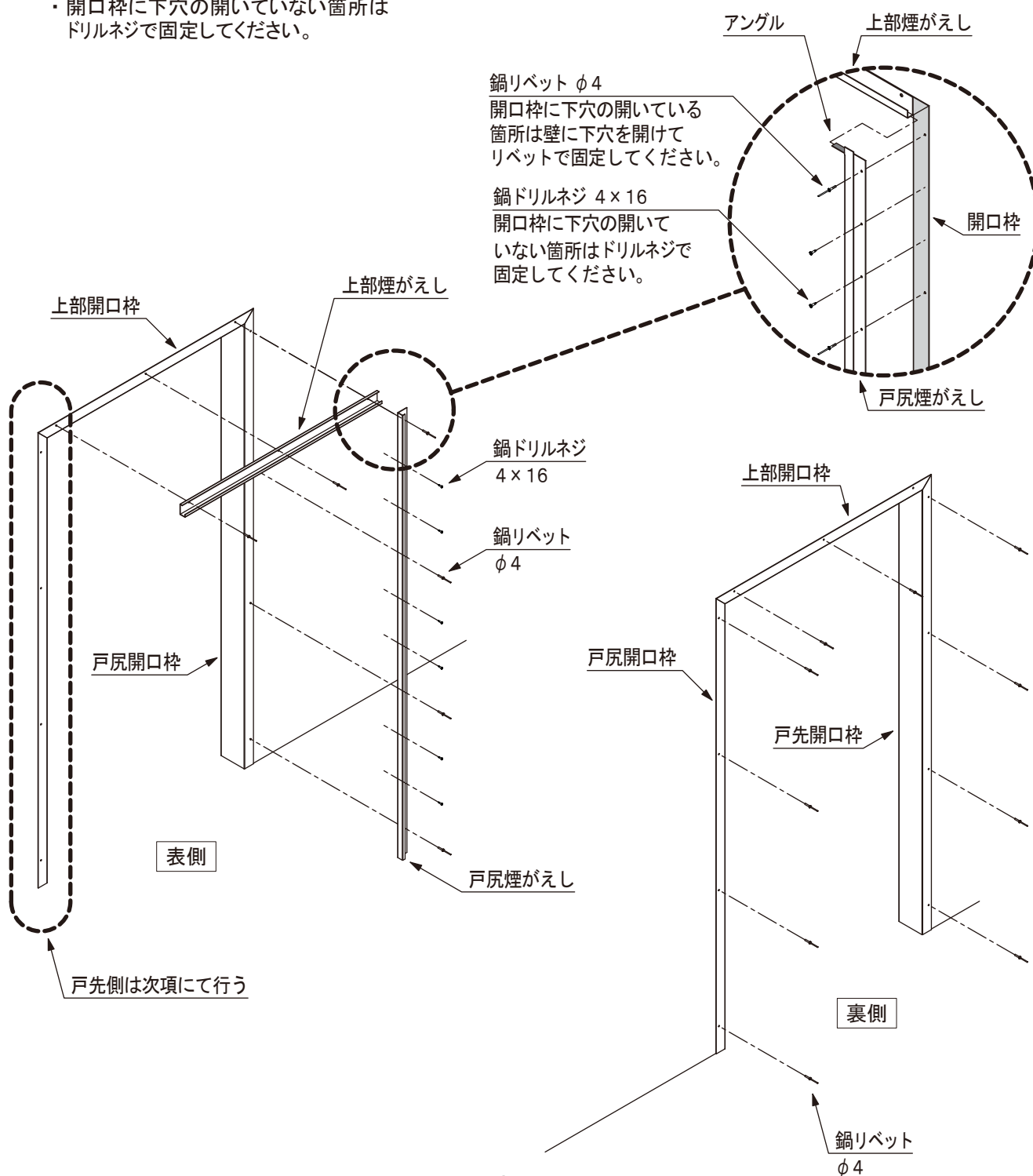


※ W寸法、H寸法、対角を確認した上で次ページ以降の作業を行ってください。

# 工事手順について

## 2. 煙がえしの取付け

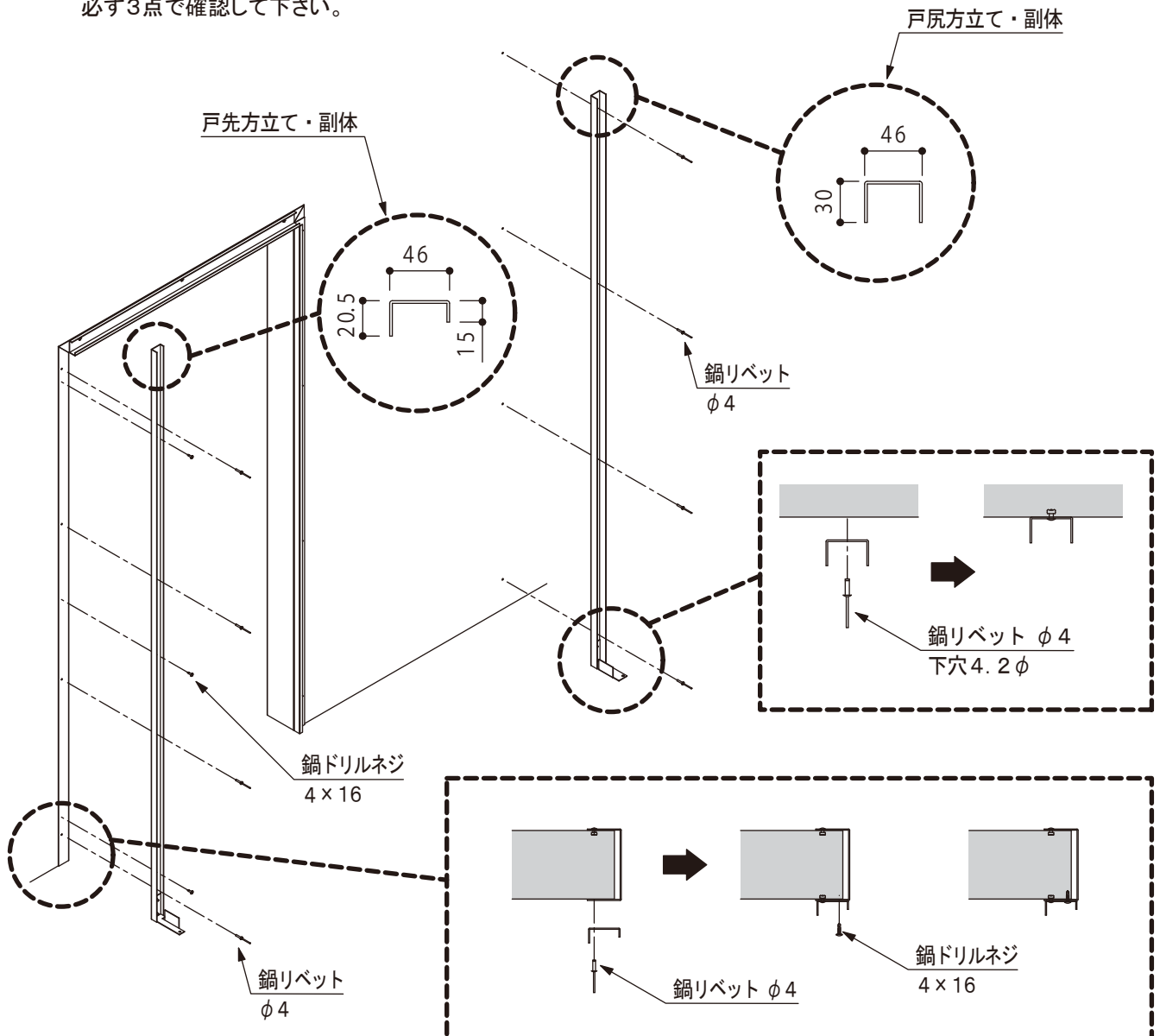
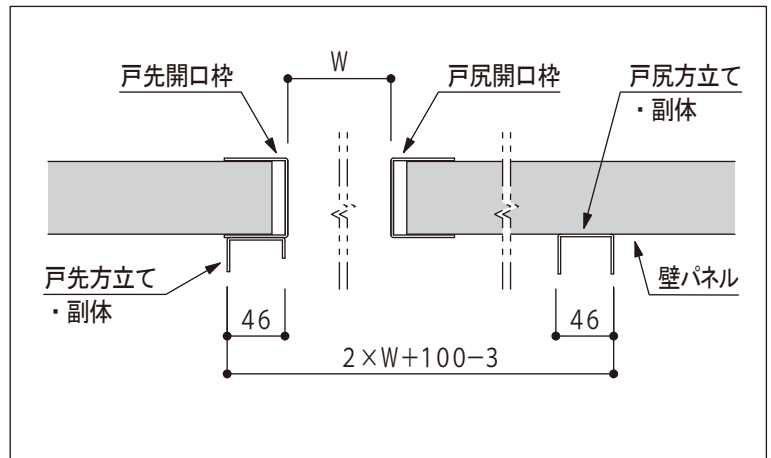
- 1) 先ず開口枠を壁開口部に固定します。
  - ・裏側の下穴が開いている箇所をすべてリベットで固定してください。
- 2) 次に上部の煙がえしと上部の開口枠を固定します。
  - ・上部煙がえしと開口枠はリベットで共締めにします。
  - ・戸先側には方立が付くので煙がえしはありません。
- 3) 上部煙がえしと戸尻側の煙がえしをアングルで繋ぎます。
  - ・開口枠に下穴の開いている箇所は戸尻側開口枠と戸尻側煙がえしの下穴を合わせてリベットで共締めにします。
  - ・開口枠に下穴の開いていない箇所はドリルネジで固定してください。



## 工事手順について

### 3. 方立て・副体の取付け

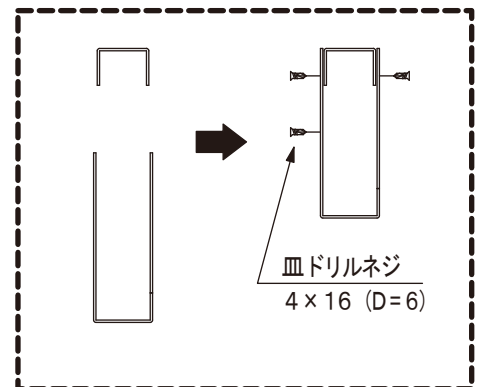
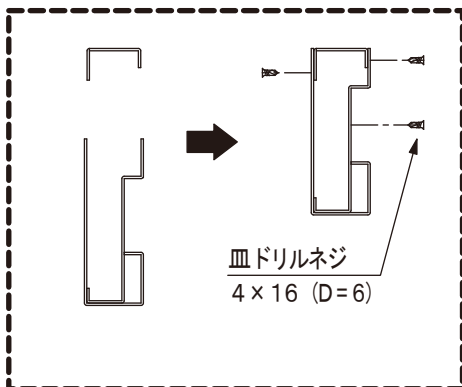
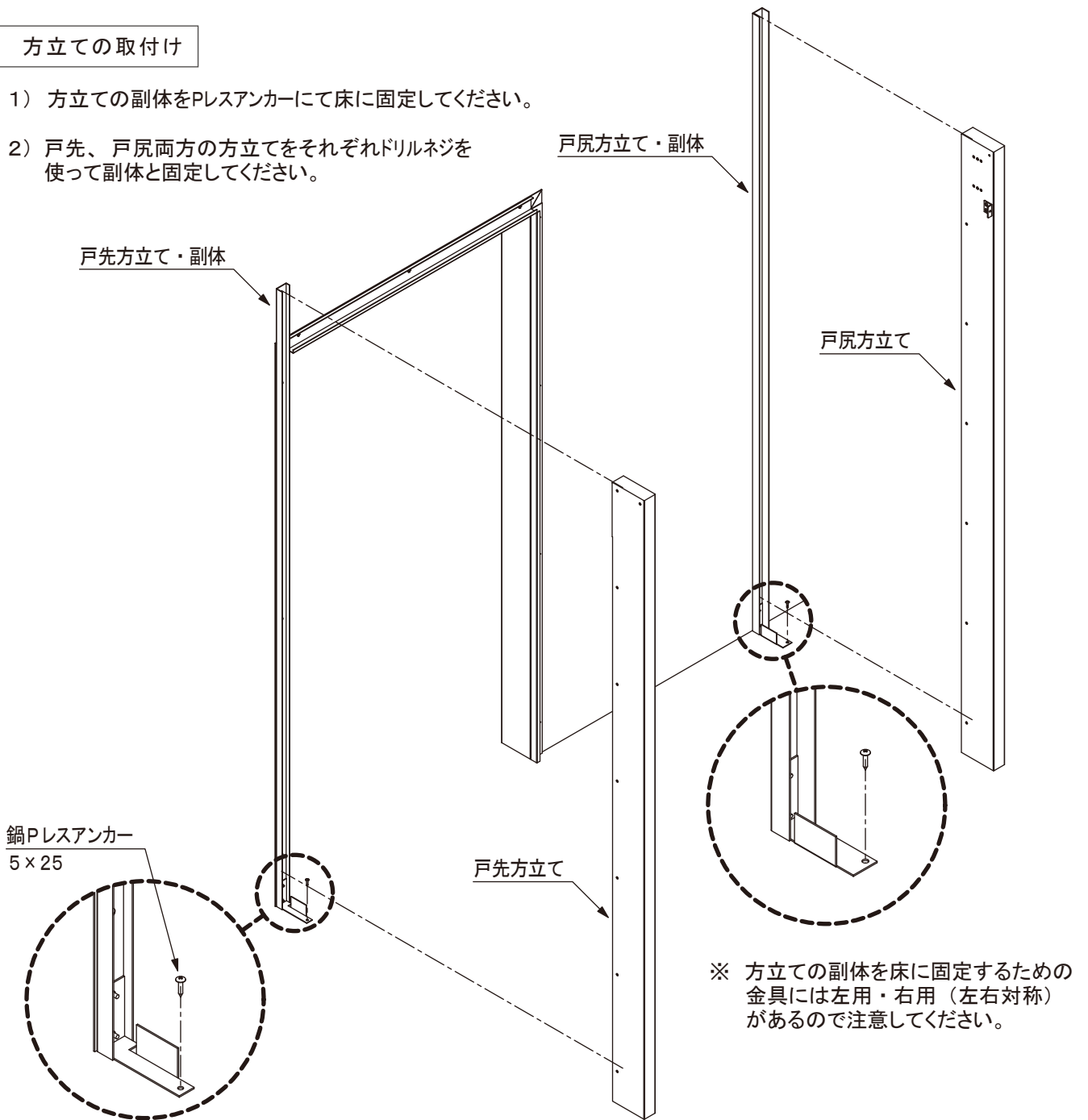
- 1) 戸先方立ての副体を開口枠にリベットで固定してください。  
その後、さらにドリルネジで固定します。
  - 2) 戸尻方立ての副体を壁にリベットで固定してください。
- ※ 戸先方立て副体と戸尻方立て副体の距離が“ $2 \times W + 100 - 3$ ”になる位置に固定してください。
- ※ 取付け時には位置出しを正確に行なってください。
- ※ 床レベルを確認する際は、開口の左右の他、戸尻の方立て部も含め、必ず3点で確認して下さい。



# 工事手順について

## 4. 方立ての取付け

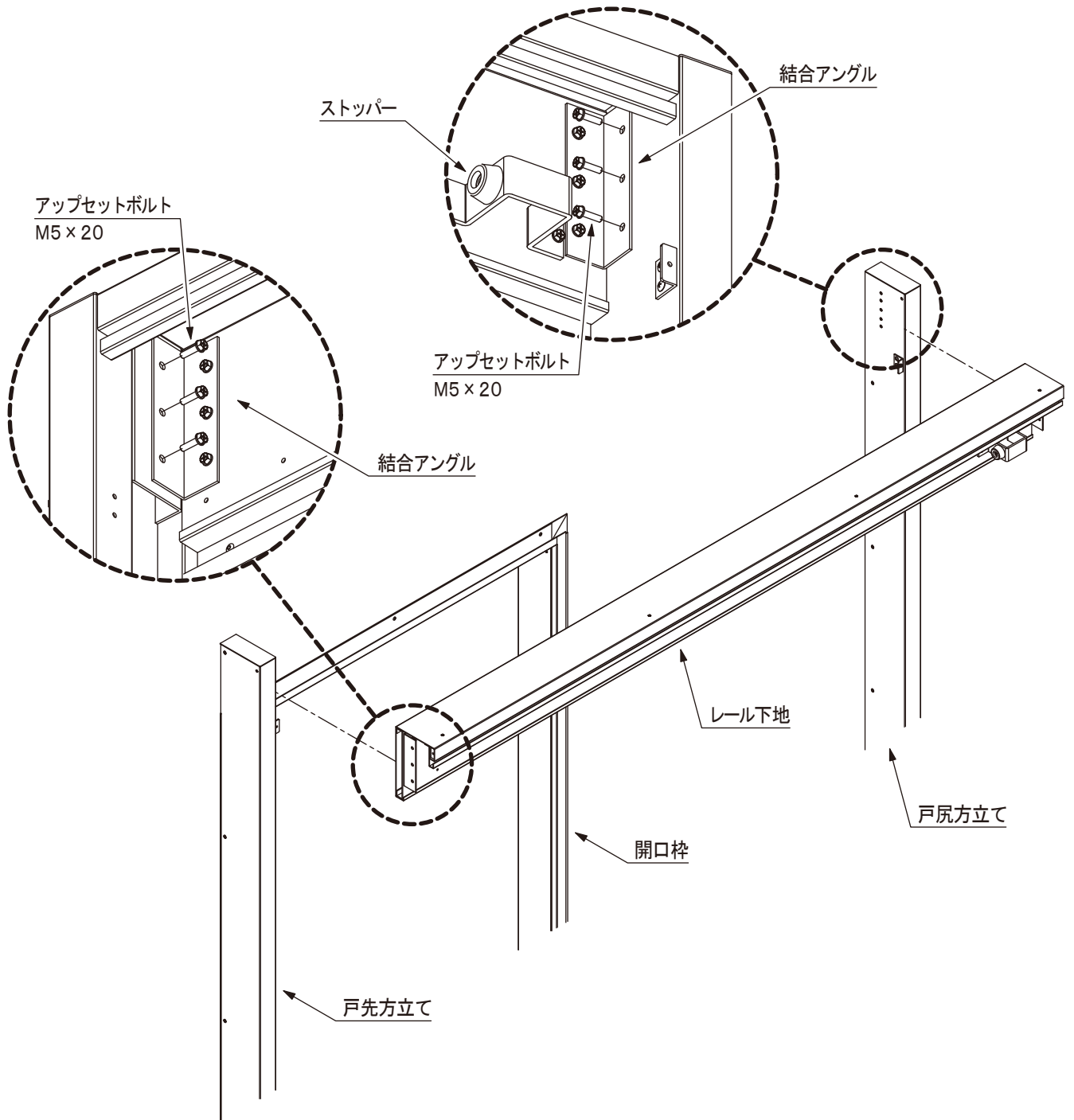
- 1) 方立ての副体をプレスアンカーにて床に固定してください。
- 2) 戸先、戸尻両方の方立てをそれぞれドリルネジを使って副体と固定してください。



## 工事手順について

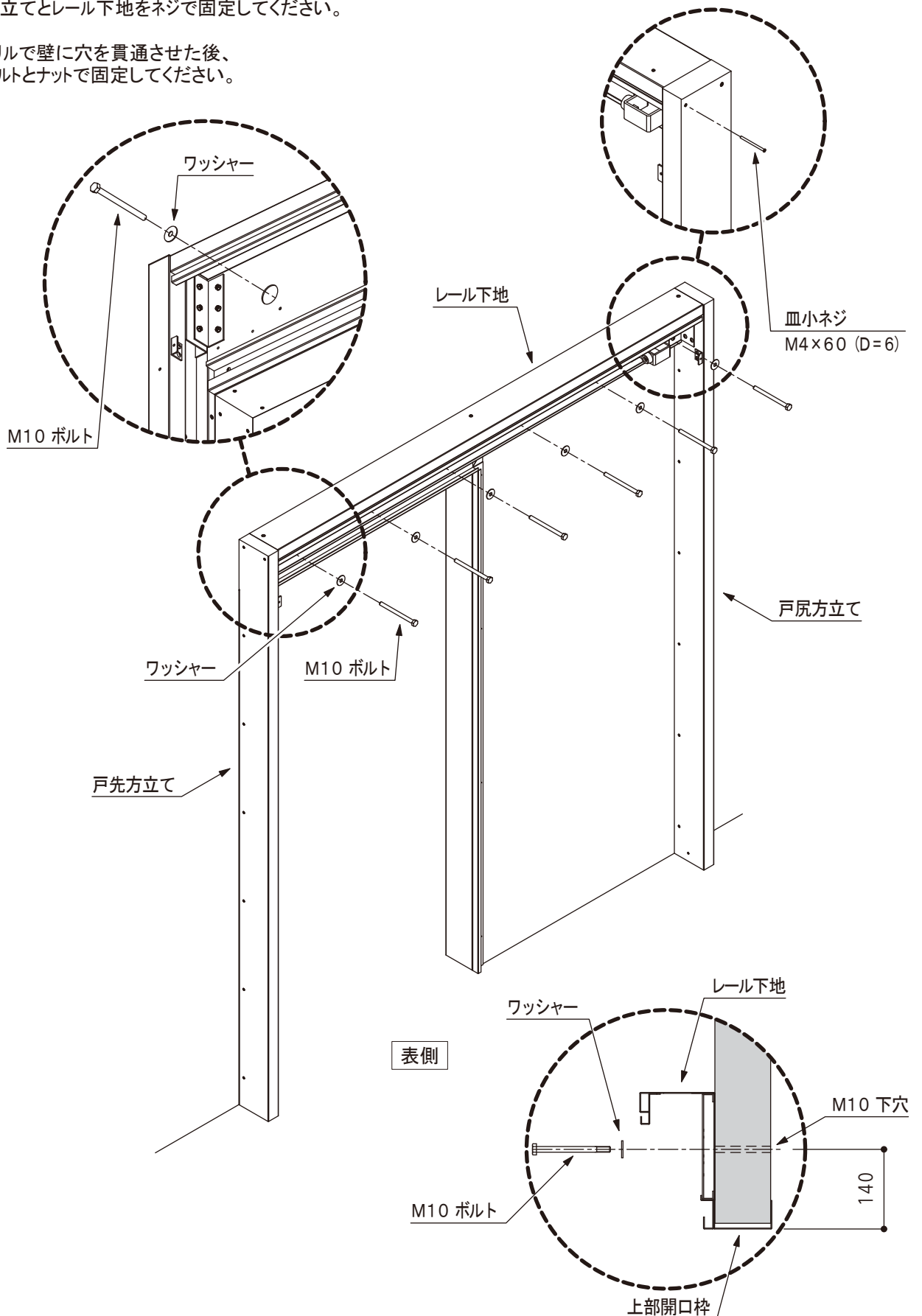
### 5. レール下地の取付け

- 1) レール下地は結合アングルを使って内側からネジで固定してください。  
戸尻のストッパーが邪魔になる場合は一度取り外してから作業してください。  
取り外したストッパーは作業終了後に必ず元に戻してください。



## 工事手順について

- 2) 方立てとレール下地をネジで固定してください。
- 3) ドリルで壁に穴を貫通させた後、ボルトとナットで固定してください。

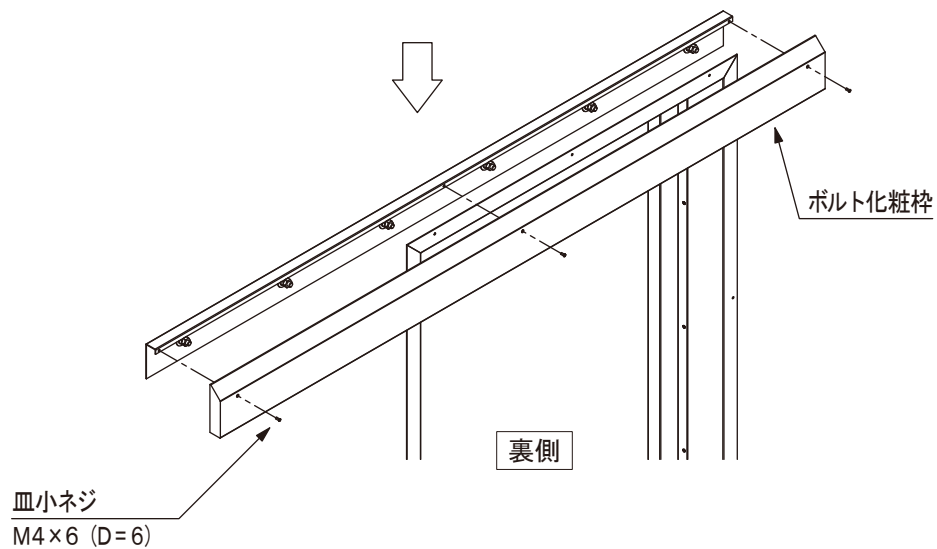
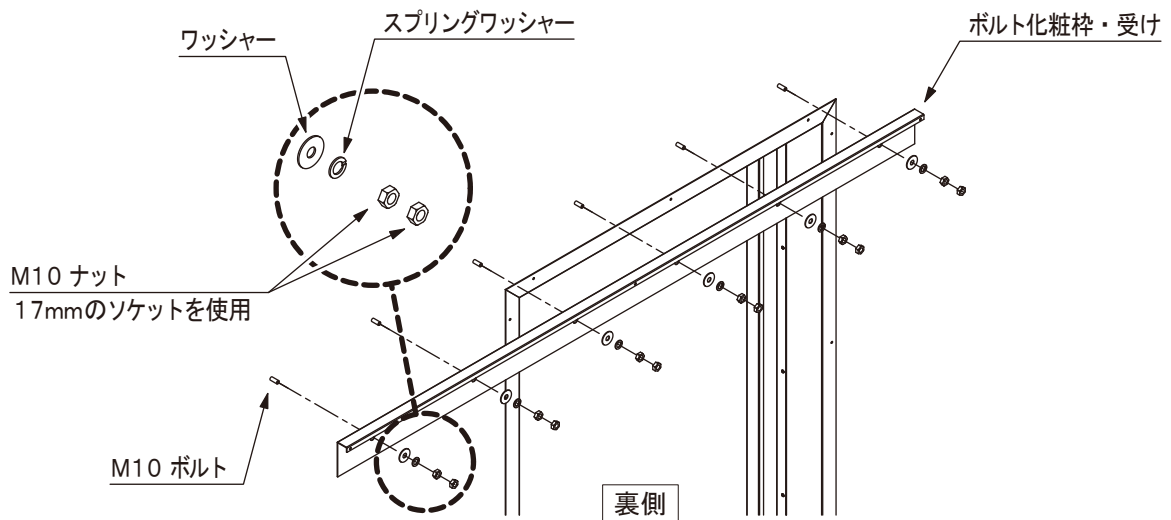
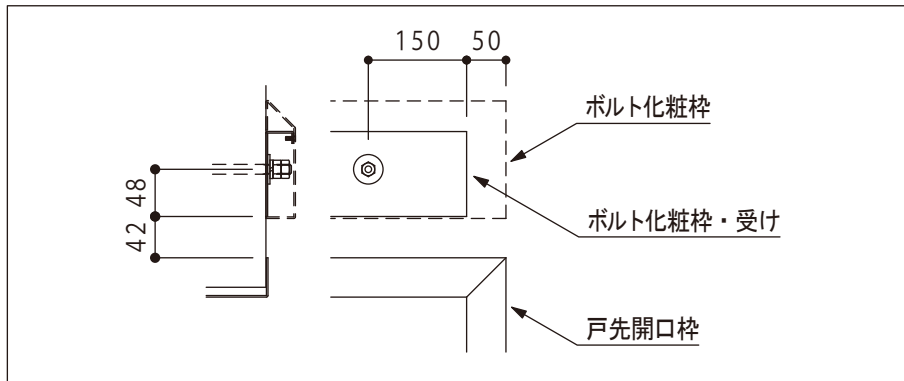




## 工事手順について

### 6. ボルト化粧枠の取付け

- 1) ボルト化粧枠が付属する場合は壁に穴あけ加工をした後に、ボルト化粧枠・受けをはさんでからワッシャー、スプリングワッシャー、ナットの順で固定してください。ダブルナットは必ず行ってください。
- 2) ボルト、ナットを固定した後、ボルト化粧枠を取付けてください。



# 工事手順について

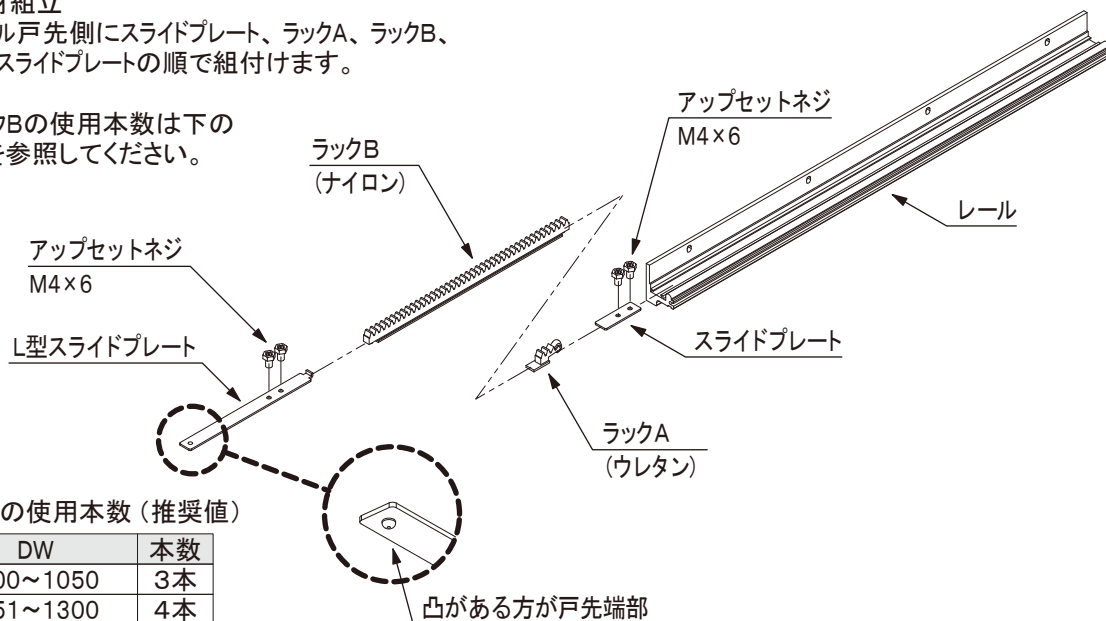
## 7. レール部材の組立て

### 1) ラックユニットの取付け

#### ① 部材組立

レール戸先端側にスライドプレート、ラックA、ラックB、L型スライドプレートの順で組付けます。

※ ラックBの使用本数は下の表を参照してください。



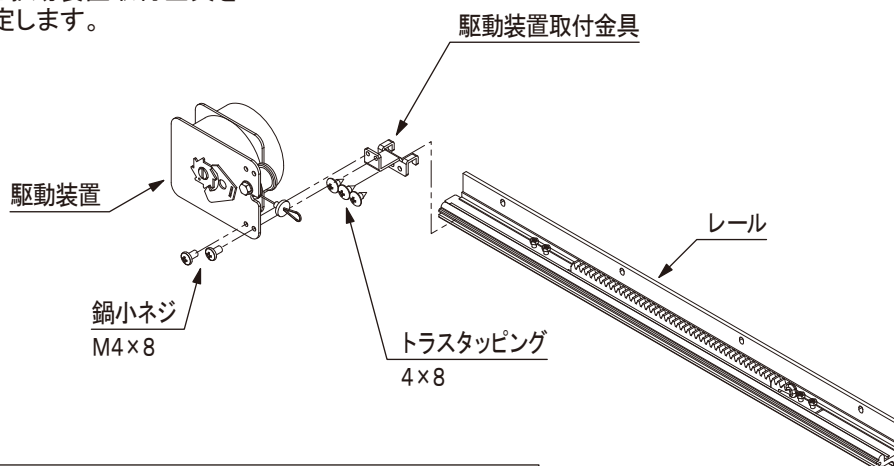
ラックBの使用本数 (推奨値)

DW	本数
900~1050	3本
1051~1300	4本
1301~1500	5本

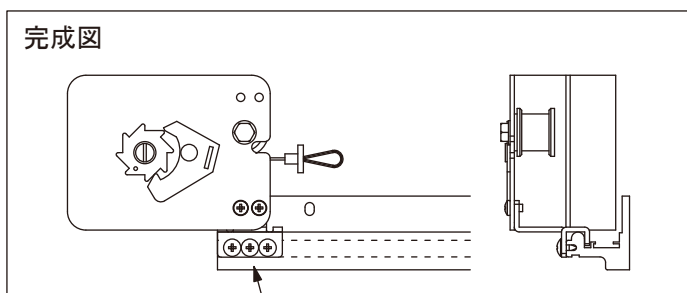
※ 推奨値よりも多く入っている場合があります。

#### ② 駆動装置の固定

駆動装置と駆動装置取付金具をレールに固定します。



完成図



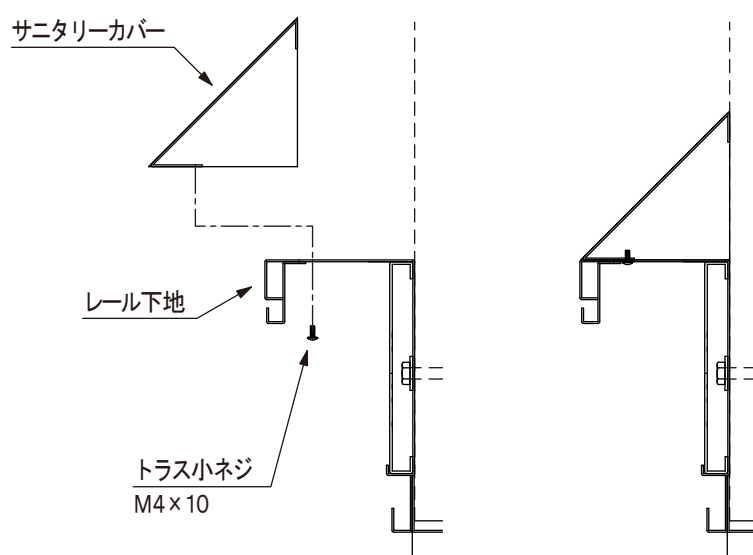
レール端部に駆動装置取付金具がくるように固定

## オプションについて

### 1. サニタリーカバーの取付け

※ サニタリーカバー付の場合、レール部材をレール下地に取付ける前に、この作業を行なってください。

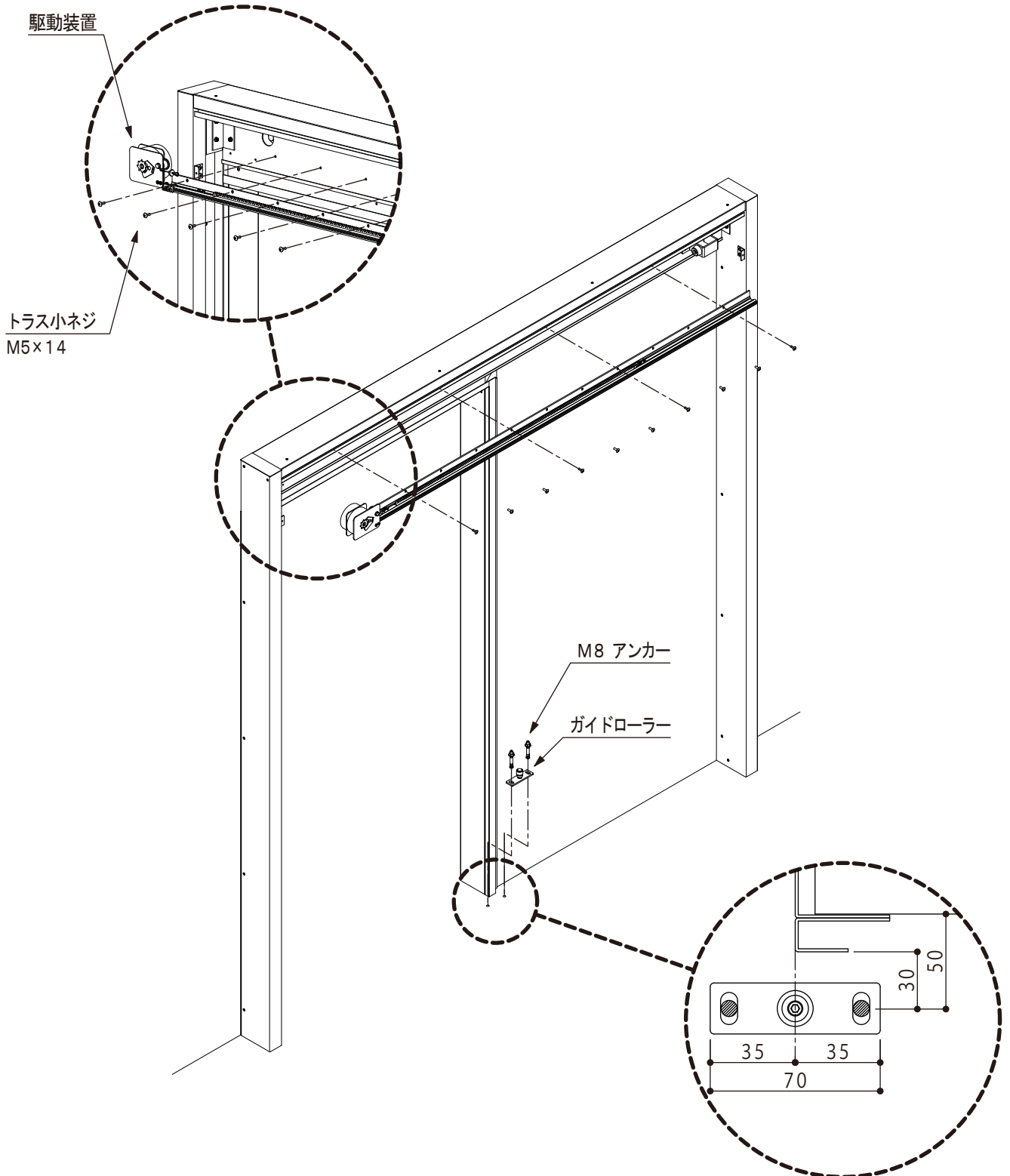
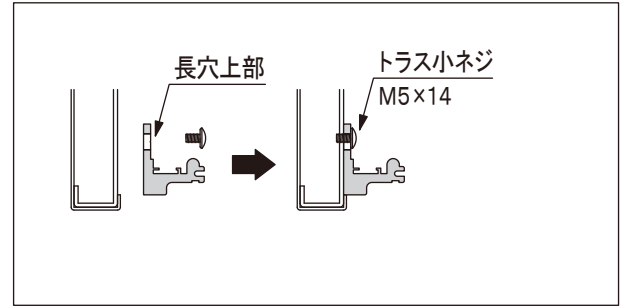
- 1) サニタリーカバーが付く場合  
サニタリーカバーをレール下地の上に配置し、ネジで固定してください。



## 工事手順について

### 8. レールの組み付け

- 1) ネジでレールと駆動装置をレール下地へ固定します。  
ネジは150mmピッチで必ず長穴の上部に取付けます。  
指定以外のネジを使うと干渉する恐れがあります。
- 2) アンカー下穴参考位置を参考にガイドローラーを取付けます。

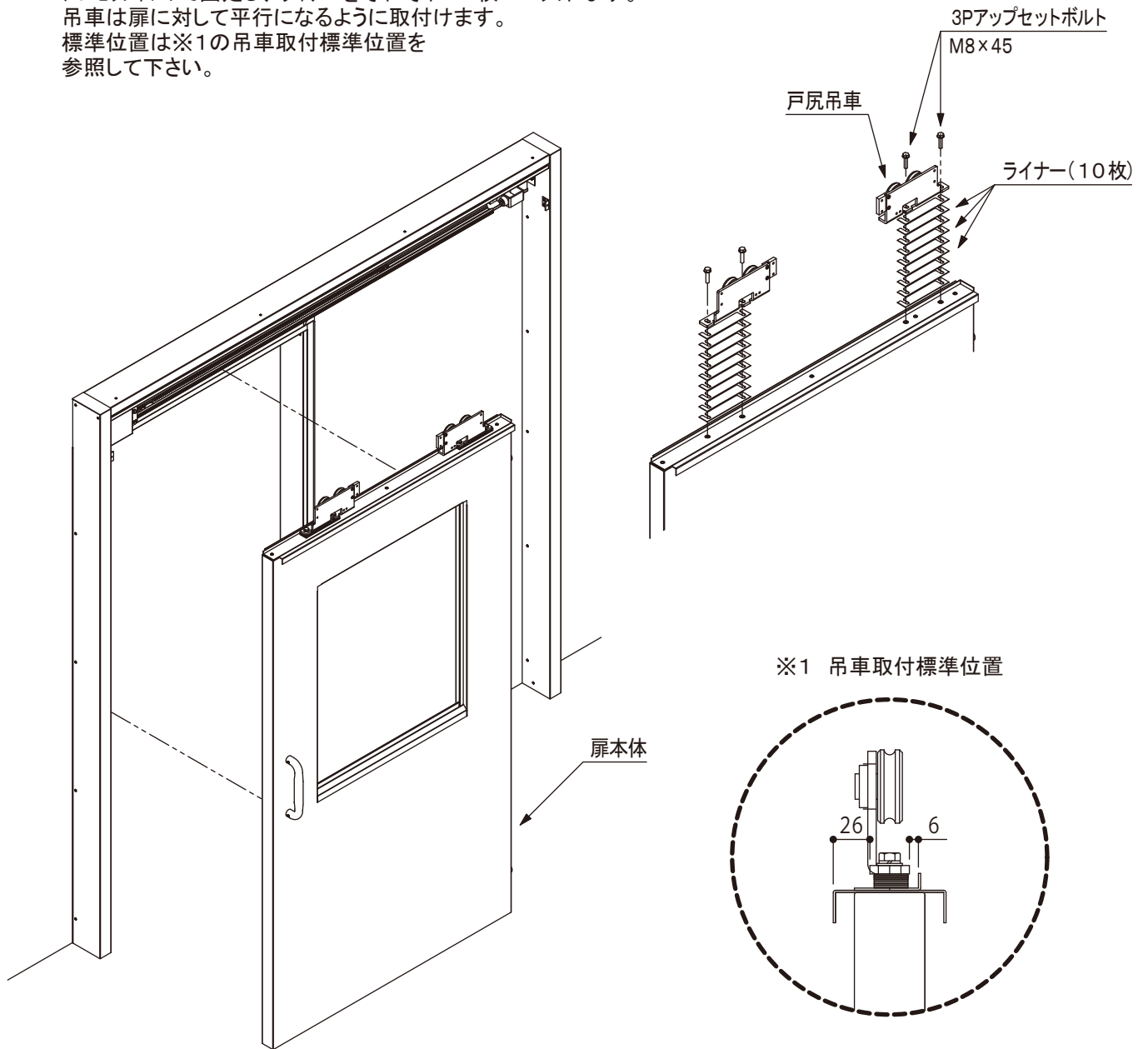


## 工事手順について

### 9. 扉の部材取付け

#### 1) 吊車の固定

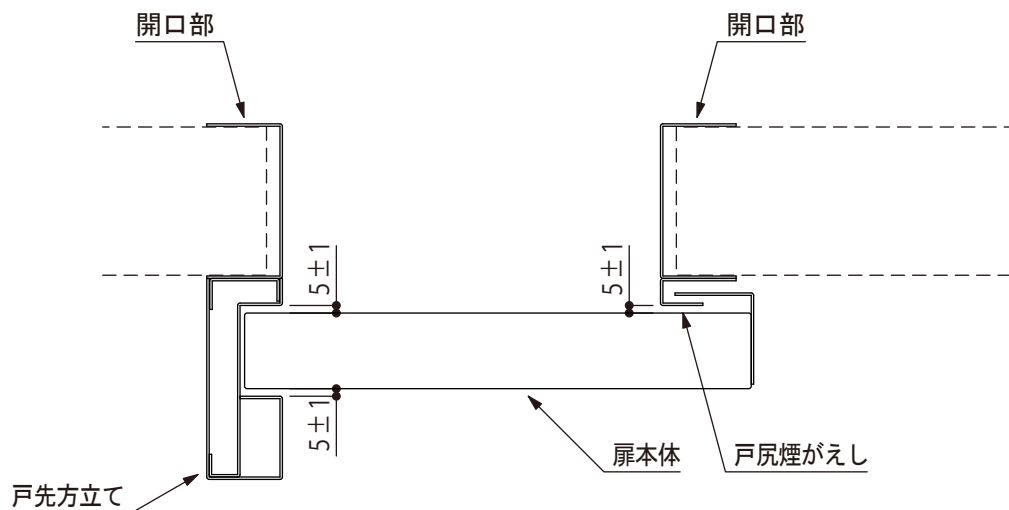
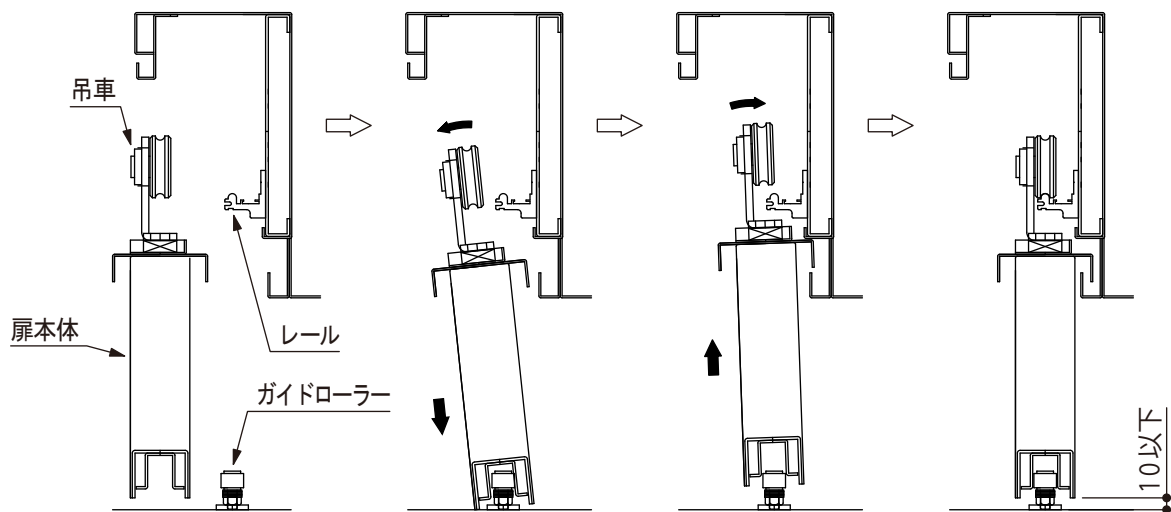
吊車は戸先と戸尻で形状が異なります。  
アップセットボルトで固定し、ライナーをそれぞれ10枚づつ入れます。  
吊車は扉に対して平行になるように取付けます。  
標準位置は※1の吊車取付標準位置を参照して下さい。



## 工事手順について

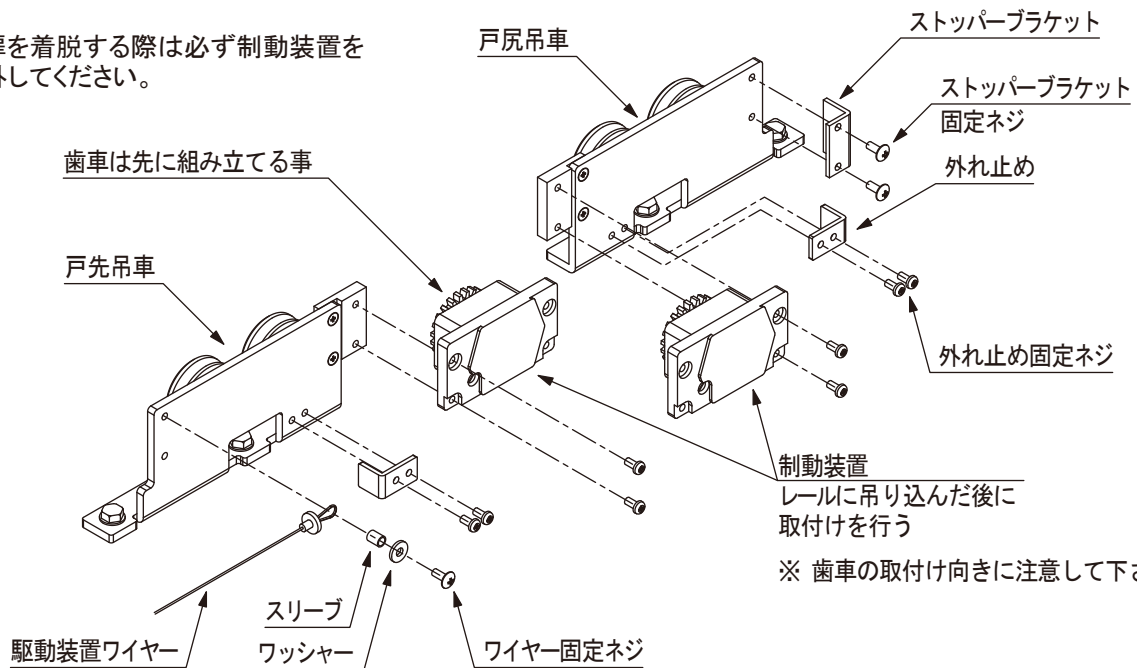
### 10. 扉の吊り込み

- 1) 吊車に付いている外れ止めと制動装置を外してください。
- 2) 扉本体を傾けガイドローラーをはめ込んでください。
- 3) 扉を持ち上げ吊車をレールに乗せてください。
- 4) 外れ止めと制動装置、駆動装置ワイヤー、ストッパーブラケットをそれぞれネジで固定してください。



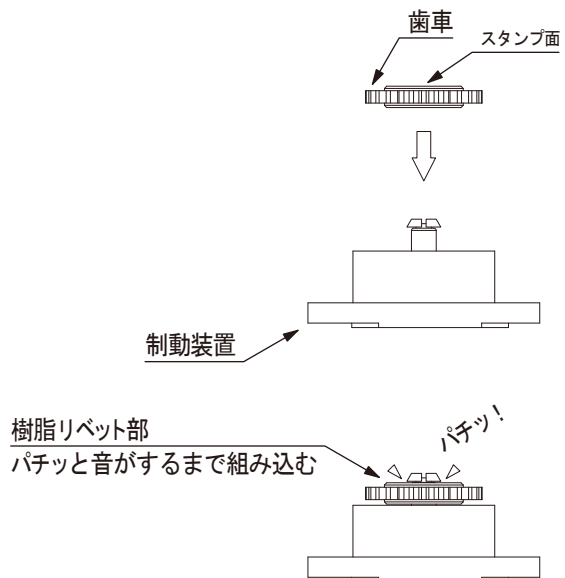
## 工事手順について

※ 扉を着脱する際は必ず制動装置を外してください。

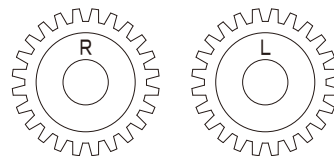


### 11. 制動装置の組立て

- 1) 開閉に支障がないか動作確認を行った後に、吊車の外れ止めの取付けを行なってください。
- 2) 吊車へ取付ける制動装置を組み立てます。  
L・Rのスタンプが外側（見える側）になるように装置の軸に取付けます。勝手を逆に組み立てると正常に作動しないので注意して下さい（下図参照）。  
組み立て後、片側には力が軸に伝達されないため歯車が軽く回りますが、逆方向に回す場合は軸に力が伝わるので歯車の動きが重くなることを確認してください。
- 3) さきほどの制動装置と、駆動装置のワイヤーの取付けを行なってください。  
破損の原因になるので制動装置の取付けはレール吊り込み後に行ってください。



表・裏で「R」・「L」を切り替えます。



R=右、L=左

**！注意！**

右引きなら、制動装置2台とも「R」  
左引きなら、制動装置2台とも「L」  
※ R、Lを逆に付けたり、RとLの組み合わせで付けたりすると正常に作動しませんご注意ください。

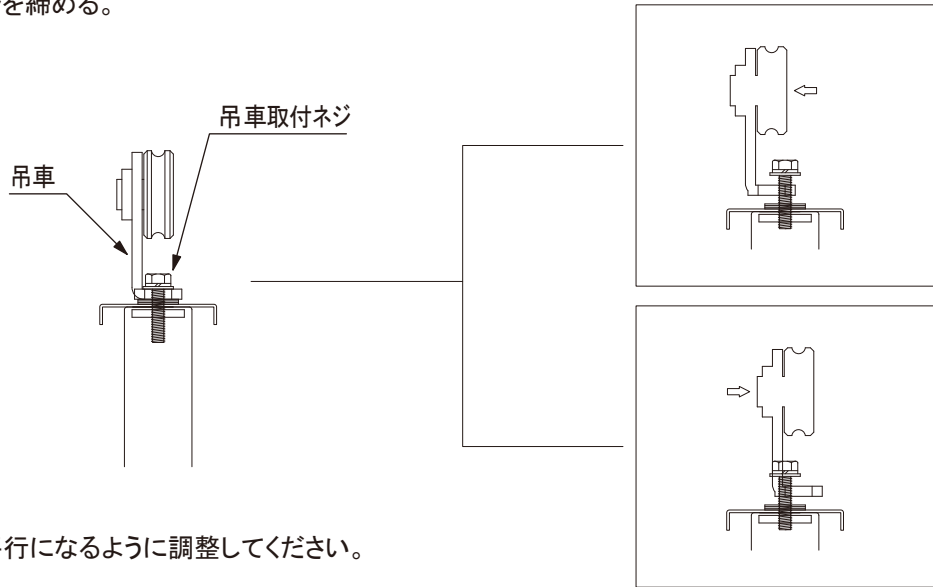
歯車を外す時は樹脂リベットを内側につまむことで取り外しが可能になります。

## 工事手順について

### 12. 扉の各種調整

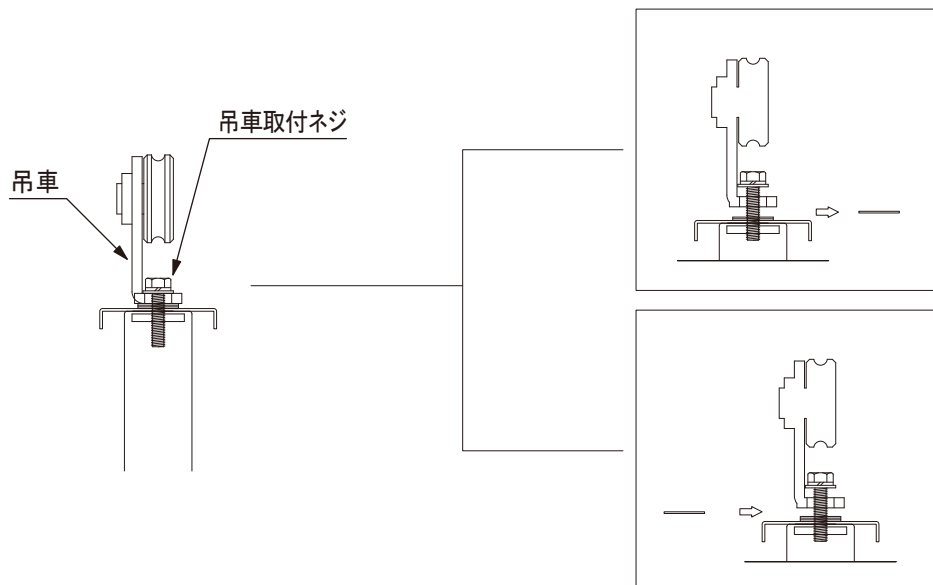
#### 1) 吊車の前後方向の調整

- ① 吊車取付ネジを緩める。
- ② 吊車の長穴部を使い前後に調整する。
- ③ 吊車取付ネジを締める。



#### 2) 吊車の高さ方向の調整

- ① 吊車取付ネジを緩める。
- ② 吊車と扉本体の間に入るライナーの量を調整する。  
(ライナーを外すと扉の位置が高くなり、入れると低くなります。)
- ③ 吊車取付ネジを締める。





## 工事手順について

### 3) 駆動装置のトルクを調整

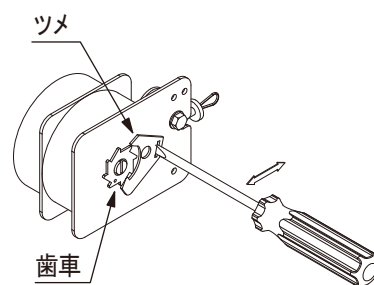
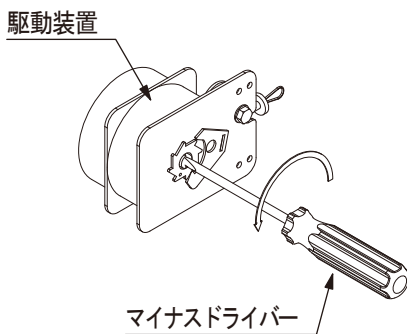
#### ① トルクアップ

マイナスドライバーで駆動装置の歯車を反時計方向に回転させます。標準値 (= 最小値) から + 8回転まで調整が可能です。

※ 巻き込みすぎは故障の原因になるので注意してください。

#### ② トルクダウン

ツメを小刻みに振ってください。最小値が不明な場合は一旦、0回転まで戻してから1.5回転ほど反時計回りに歯車を回転させてください。



最小値 = 1.5巻き (単体引き出し力15.5 [N])  
最大値 = 9.5巻き (単体引き出し力30.5 [N])

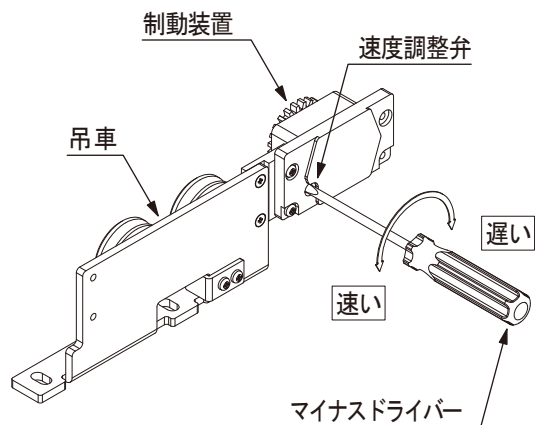
### 4) 閉鎖速度の調整

#### ① 速度調整について

制動装置の速度調整弁をマイナスドライバーで調整する。

#### ② 戸先、戸尻について

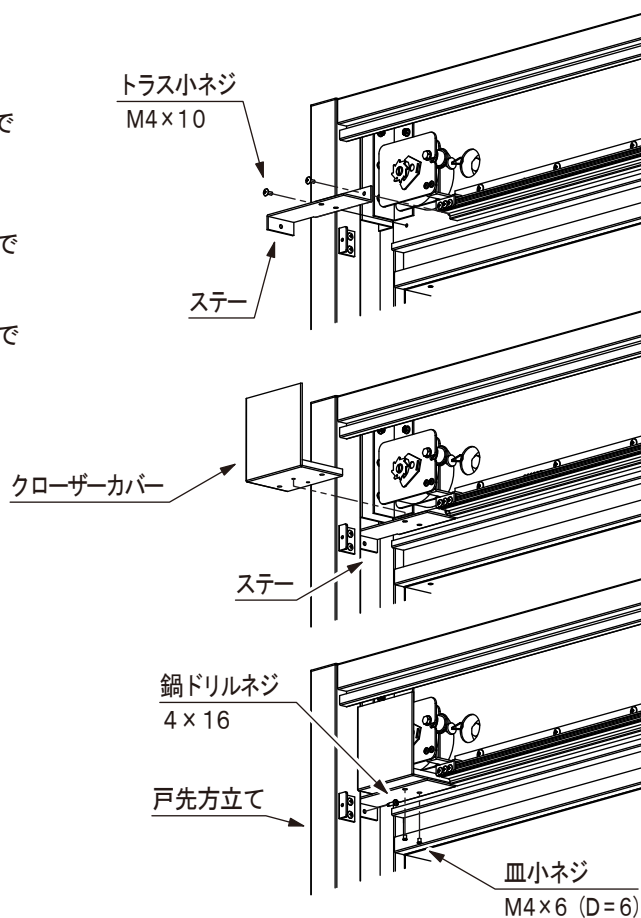
速度調整は戸先・戸尻の2台行います。  
戸先側はほぼ全ての区間の制御。  
戸尻は閉じる際の制御になります。



## 工事手順について

### 13. クローザーカバーの取付け

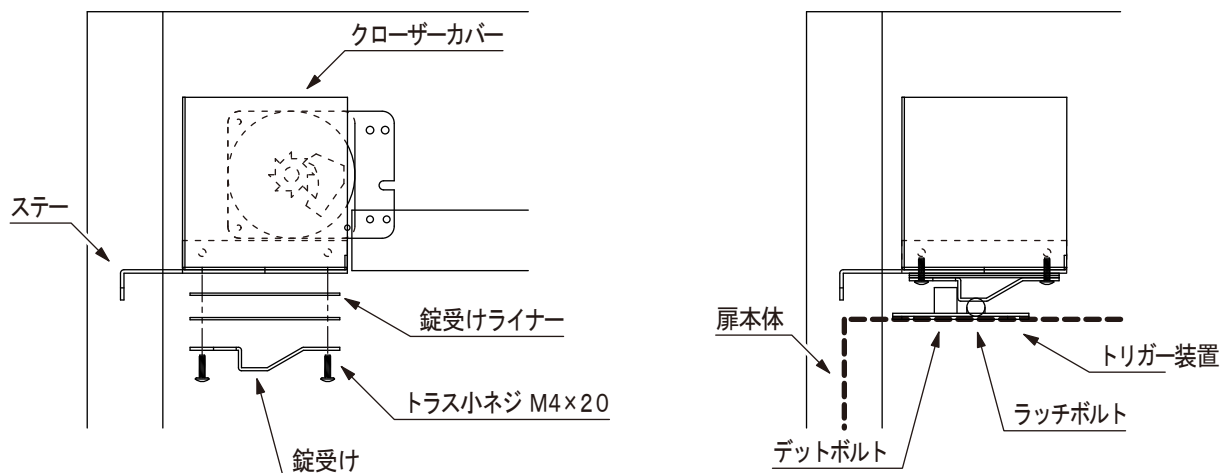
- 1) ステアーをレール下地にトラス小ネジM4×10で固定してください。
- 2) クローザーカバーをステアーの上に置き、ステアーとカバーを皿小ネジM4×6 (D=6) で固定してください。
- 3) ステアーを戸先方立てに鍋ドリルネジ4×16で固定してください。



## オプションについて

### 2. 錠受けの取付け

- 1) ステアーに錠受けをトラス小ネジM4×20で固定してください。  
錠受けライナーの枚数は2枚を標準とし、扉を吊り込んだ後でトリガー装置のラッチボルト及びデットボルトがスムーズに掛るように錠受けライナーの枚数を調整してください。  
(ラッチの掛りがきつすぎると故障の原因になりますのでご注意ください)



## 工事手順について

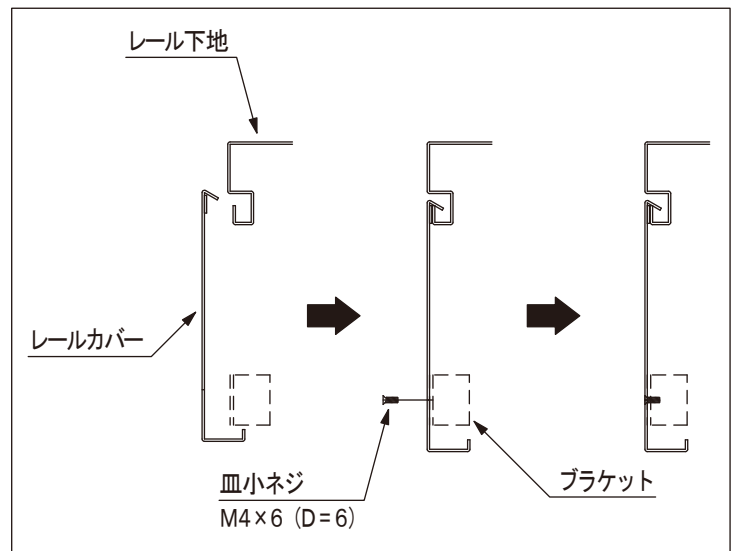
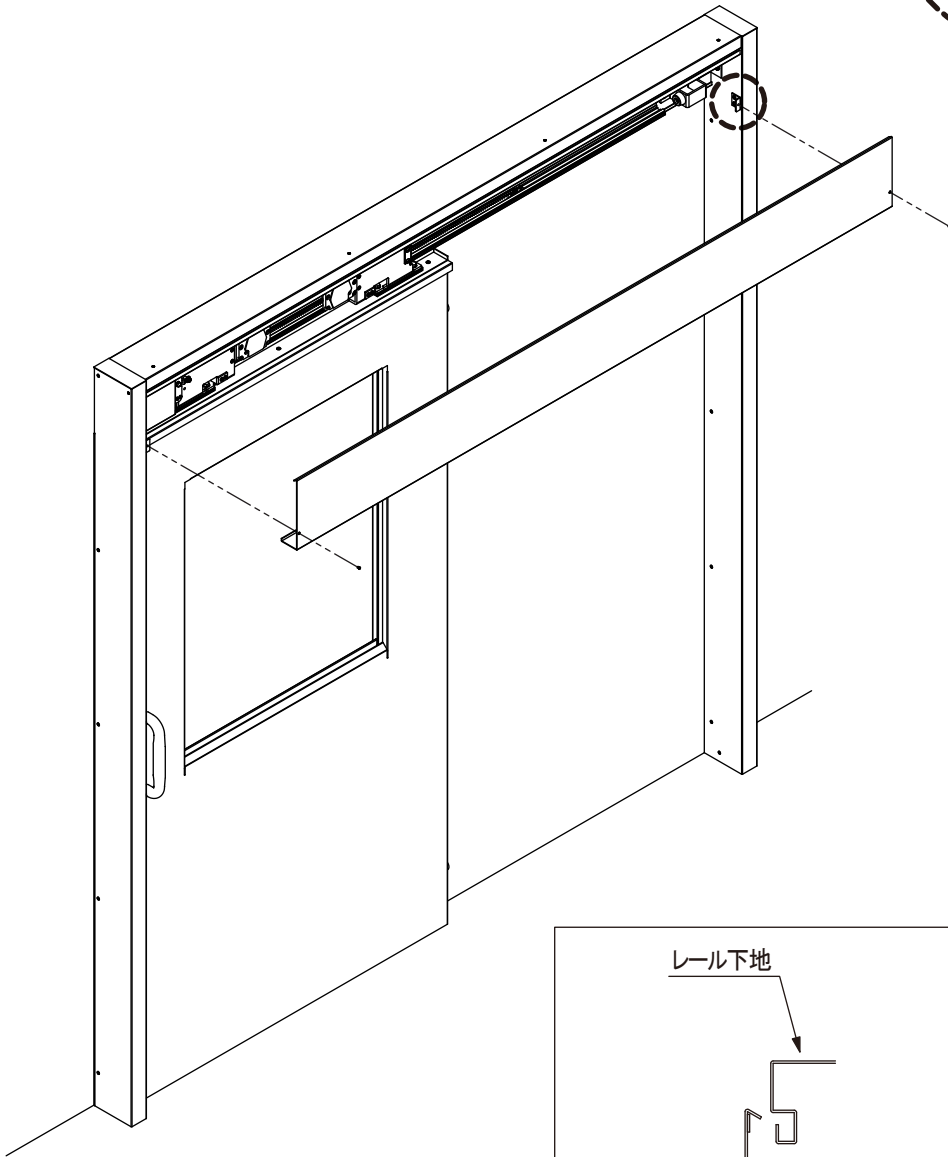
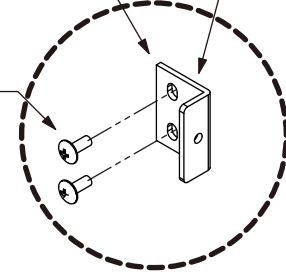
### 14. レールカバーの取付け

- 1) レールカバーの取付け  
レールカバーをネジで固定してください。  
穴位置と合わない場合はブラケット固定ネジを緩めて  
上下方向の調整を行ってください。

長穴になっているので  
調整可能

ブラケット

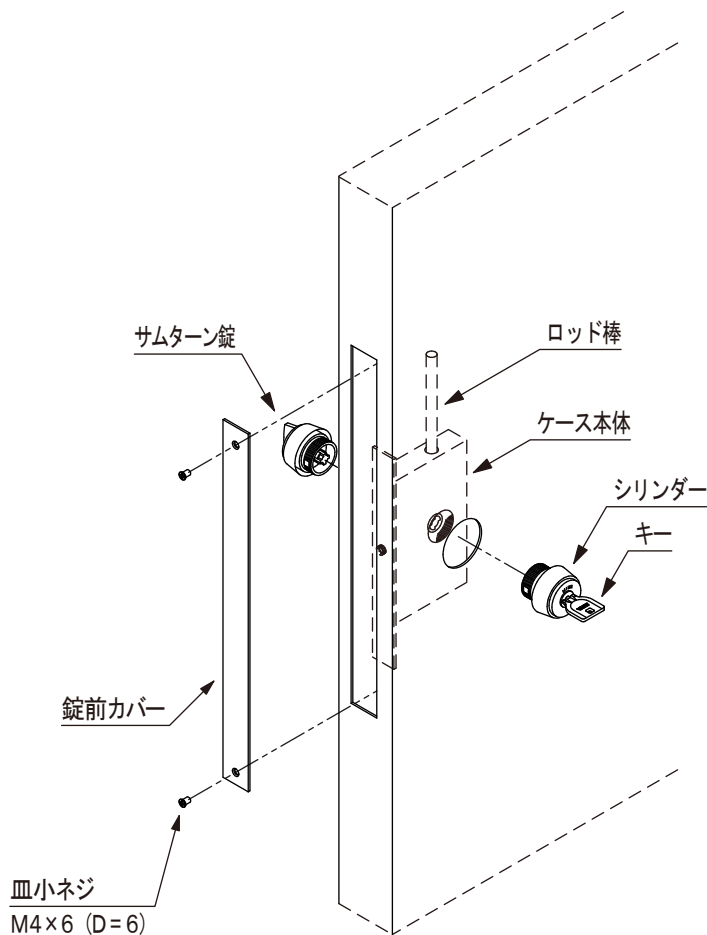
トラス小ネジ  
M4×10



## オプションについて

### 3. シリンダー／サムターンの交換方法（美和ロック UD錠）

- 1) 錠前カバー固定ネジである皿小ネジ M4×6 (D6) を緩めて外してください。
- 2) まず、シリンダーにキーを差し込んでください。解錠状態を保ってください。
- 3) シリンダー止めネジを左へ5～6回廻した後、シリンダーとサムターンを左へ廻して取り外します。
- 4) シリンダーの取付けは、キーをシリンダーに差し、キーを指で掴んだまま、もう一方の手でシリンダーをケースにねじ込みます。キーはMIWAの刻印が上を向いた初期状態を必ず保ってください。シリンダーは充分にねじ込み、MIWAの刻印が上部にくる位置で止めます。
- 5) サムターンをケースに充分にねじ込みます。MIWAの刻印が上・下にくる位置で止めます。摘みが垂直になった状態を必ず保ってください。
- 6) シリンダー止めネジを右へ廻して締め込むとシリンダー、サムターンが固定されます。シリンダーとサムターンの動作確認をしてください。正常に動作すれば作業終了です。錠前カバーをねじで固定してください。



#### 注意！

シリンダー／サムターンに強い衝撃を加えないでください。施錠できなくなる状態になることがあります。

#### 注意！

シリンダー止めネジを廻すときは、インパクトドリル等の電動工具は避けてください。廻しすぎると、シリンダー止めネジが破損する場合があります。



#### 注意！

このシリンダーは美和ロックのU9型です。通常、キーは水平状態の時に引き抜くことができますがシリンダーの取付けの際、キーの向きが正しくない状態で取付けると作業後にキーが抜けなくなります。作業後にキーが抜けない場合は、錠穴を上図と同じ向きにしてからもう一度、作業をやり直してください。